

## 【豊田地区防災連絡協議会発会式を開催しました】

3月13日、豊田小学校体育館で豊田地区の防災連絡協議会発会式が開催されました。

豊田地区では、平成7年頃から各自治区での自主防災会を結成し、活動していますが、より地域の見守りや避難所運営の積極的なサポートを目的に、小学校区単位での自主防災会を結成しました。

豊田地区は、平成27年関東・東北豪雨の経験から、災害時に行政の支援を待つのではなく、初期期の混乱した状況でも、自ら安否を確認して、逃げ遅れ者ゼロを目指した地域による防災活動が重要であると考えています。これまで結成に向けて積極的に勉強会を重ねており、既に防災活動に取り組んでいる地域から講師を招き、講演会を開催するなど、防災意識の高さが感じられます。発会式当日は、組織結成までの歩みや、今後の活動内容について発表がありました。また、西南広域消防本部の方による救急応急処置を実施し、災害時の人命に関わる事故が発生した際の対応について学び、今後の活動や防災全般に関する意見交換を行い、閉会となりました。



▲発会式の様子



▲救急応急処置

◆問い合わせ = ㊟防災危機管理課(内線2210)



## 多文化生通信

新連載!

vol.1

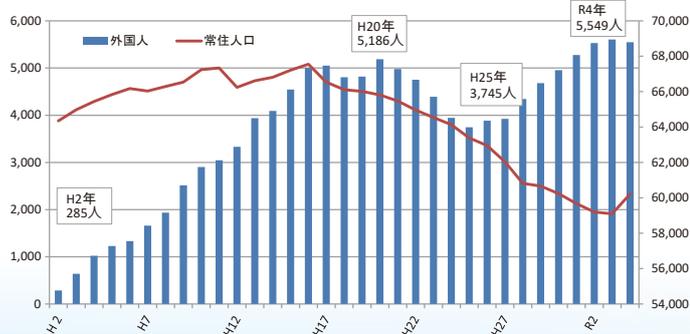
## 外国人が活躍できるまち常総



### 外国人の現状について

常総市には、3月1日現在で、5,563人(43カ国)の外国人の方が居住しており、人口比率は約10%と県内でもトップの自治体です。まちで見かけたり、職場で一緒に働いている方も多いのではないのでしょうか。そのような中、外国人が多く住み暮らすことを当市の特性として積極的にとらえ、外国人が活躍できるまちを目指しています。

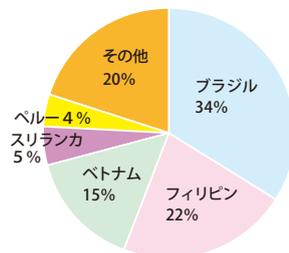
■外国人の人口推移 ※左の数字は外国人、右の数字は常住人口を示しています。(各年1月1日現在)



平成2年の出入国管理及び難民認定法(以下入管法)の改正に伴い、「定住者」等10種類の在留資格が新設され南米系日系人の定住化が進み、市内に住む外国人も年々増えてきました。平成20年の世界的金融危機(リーマンショック)

ク)の頃から平成25年まで減少傾向でしたが、平成26年以降は約1,800人近くの外国人が増えていることが分かります。しかし、外国人人口が増える一方で常住人口(3月は60,136人)が減っており、市民の約10人に1人が外国人となります。

### ■常総市にはどのような国籍の方がいるの?



この5年間で一番増えた国籍はベトナムです。平成28年は約170人でしたが、令和4年1月現在で約800人の方が居住しています。その他、少数ですが、英国やギリシャ、インドやジャマイカ等の方が居住しており、多様化しています。6月号では「多文化共生の意義や必要性」についてお知らせします。

◆問い合わせ = ㊟市民と共に考える課(内線2110)

常住人口のうごき(令和4年3月1日現在)※( )内は前月比  
 男30,134人(-34)/女30,002人(-24)/合計60,136人(-58)  
 外国籍住民5,563人(-11)/世帯数22,710世帯(+18)

